

日中セミナー開催報告

10月27日（月）、JJK 会館会議室で JISA と北京市海淀区ソフトウェアサービス企業協会（HASS）の共催による日中セミナーが開催された。HASS は日本向けオフショア開発を主業務としていた企業を中心に結成され、日中両国の関係が特に厳しいときにあっても民間交流を継続することを主目的として、相互理解のためのセミナーを 2011 年以来日中両国で開催してきた。今回の参加者は 35 名。

今回のセミナーでは、冒頭、川本淳也国際委員会副委員長（(株)NTT データ）と鐘明博 HASS 理事長の開会挨拶の後、日本側は川本氏の講演、中国側は(株)ホープラン東京・西中山執行役員の「AI サービスロボットの業務運用」としてトヨタ販売店向けに接客や自動車査定のサービスを提供している事例やネオス社の劉勇副社長より保険会社向け（外資系保険会社・日本法人）に Llama をカスタマイズした専用 LLM を開発して、BPO を AI プラットフォームに代替するプロジェクトを展開していることなどが報告された。AI 導入後は年間 300 万ドルのコスト削減につながる模様。

続いて西中山氏、川本氏、鐘氏に加え、マイクロソフト社 AI マネージャー陳氏が参加して AI についてのパネルディスカッションが行われた。日本企業の AI についての支払いは世界第 2 位であり、Copilot のビジネスでの利用率も非常に高いことなどが報告されたほか、日中協力の方向性として、中国企業は、日本を含む海外ビジネスにい

では全て Chat GPT、Gemini などグローバルで評価されている AI を使い、データサーバーもローカライズする等現地化の努力をすることによって信頼獲得につとめていることが紹介された。(山本)



(株)ホープラン社講演風景



パネルディスカッション風景